

平成20年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定内容

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成20年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成20年7月9日(木)に仙台ロイヤルパークホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者11名、委託関係者38名ほか、計58名の参集を得て、除草剤27薬剤(214点)、生

育調節剤2薬剤(11点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成20年度 秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
1. AKD-7164水和 シアナジン 50% [アケ・ロカネショウ]	コウライシ ハ	適用性 新規	植調埼玉 関西G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草(ワコ除く)] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.05, 0.1, 0.15, 0.2g ・<200~300mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任	継	継) ・効果・薬害の確認(コウライシハ、シハ)
	シハ	適用性 新規	植調埼玉 関西G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草(ワコ除く)] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.05, 0.1, 0.15, 0.2g ・<200~300mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任		
2. AKD-7175粒 DBN 1.2%、シアナジン 3% [アケ・ロカネショウ]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期 雑草発生前 ・8, 10, 12g/m ² ・土壌処理 対) 一任	実・ 継	実) [秋冬作(コウライシハ)一年生雑草、 多年生広葉雑草] ・芝生育期、 雑草発生前~発生初期 ・8~12g/m ² ・土壌処理
	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期 雑草発生初期 ・8, 10, 12g/m ² ・土壌処理 対) 一任		継) ・スギナに対する効果の確認 (コウライシハ) ・倍量薬害試験での確認 (コウライシハ) ・連用試験での確認(コウライシハ) ・実証試験での確認(コウライシハ)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
3. ALH-024顆粒水和 新規化合物 70% [アリスタ ライフサイエンス]	コウライシ ハ [°]	適用性 新規	植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (3)	[スズメノカタビラ、一年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.0175, 0.025, 0.0375, 0.05g<100-200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 ・ 展着剤不要 対) 一任	継	継) ・ 効果・薬害の確認(コウライシハ [°] 、ノシハ [°])
	ノシハ [°]	適用性 新規	植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (3)	[スズメノカタビラ、一年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.0175, 0.025, 0.0375, 0.05g<100-200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 ・ 展着剤不要 対) 一任		
4. BEH-4477フロアブル ネラムスルフロン 2.3% [ハ [°] イエル クロップ サイエ ンス]	コウライシ ハ [°]	適用性 継続	泉パ [°] タカノGC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 (イネ科5-6L) ・ 0.15, 0.2, 0.25mL <150-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) モニメント顆粒水和 0.0045g<150-200mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作;(コウライシハ [°])一年生雑草、 多年生広葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草生育期 ・ 0.15~0.25mL<150~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 [秋冬作;(ノシハ [°])一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草生育期 ・ 0.15~0.25mL<150~200mL>/m ² ・ 茎葉処理
	ノシハ [°]	適用性 継続	泉パ [°] タカノGC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 (イネ科5-6L) ・ 0.15, 0.2, 0.25mL <150-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) モニメント顆粒水和 0.0045g<150-200mL>/m ²		継) ・ 多年生イネ科雑草に対する効果の 確認(コウライシハ [°] 、ノシハ [°]) ・ 多年生広葉雑草に対する効果の 確認(ノシハ [°]) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ [°] 、ノシハ [°]) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ [°] 、ノシハ [°]) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ [°] 、ノシハ [°])
	コウライシ ハ [°]	作用性 新規	埼玉スサ [°] アム2002 門司GC (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.25mL<100mL>/m ² , 0.5mL<200mL>/m ² , 1.0mL<400mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要		・ 効果の確認された草種 スズメノカタビラ、オオアレチナギク、ヒメカシヨ モギ、タネツクバナ、スズメノエンドウ、マメカミ ツレ、ツメクサ、オランダミミナグサ、オオイヌフ タリ、ウラボシ、オチコグサ、チト [°] メグサ、セイヨ ウタンポポ、カタハミ
	ノシハ [°]	作用性 新規	タ [°] ンデ [°] イ那須GC 門司GC (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.25mL<100mL>/m ² , 0.5mL<200mL>/m ² , 1.0mL<400mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
5. BEH-5077フロアフル インタジェラム 20% [ハ イェル クロップ サイエ ンス]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.02, 0.025, 0.03mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) イテトッ プフロアフル 0.08mL<200-300mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0.02~0.03mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 効果の確認された草種 メヒシハ、ウラシ ロチコグ サ、ヒメムカシヨモ ギ、コシキソウ、ヤハズ ソウ、クワサ、トキンソ ウ、ツメクサ、イヌグサ、ハキタ メキク
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.02, 0.025, 0.03mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) イテトッ プフロアフル 0.08mL<200-300mL>/m ²		
	コウライシ ハ	作用性 新規	埼玉スタジアム2002 関西G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200mL>/m ² , 0.06<400mL>/m ² , 0.12mL<800mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		
	ノシハ	作用性 新規	グランドイナズマGC 関西G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200mL>/m ² , 0.06mL<400mL>/m ² , 0.12mL<800mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		
	コウライシ ハ	作用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		
	ノシハ	作用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		
6. DAH-0712フロアフル プロビタミ 35% [タケナカ日本]	コウライシ ハ	適用性 継続	植調研究所 関西G研 (2)	[一年生雑草(本科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.375, 0.5, 0.625mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) カーブ水和 0.4g<200-300mL>/m ²	継	継) ・ 効果、薬害の確認(コウライシハ、ノ シハ)
	コウライシ ハ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.625mL<200mL>/m ² , 1.25mL<400mL>/m ² , 2.5mL<800mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		
	ノシハ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.625mL<200mL>/m ² , 1.25mL<400mL>/m ² , 2.5mL<800mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
7. DAH-0808EW ジネオビル 24% [タケカミル日本]	コウライシ ハ	適用性 新規	泉バークタウGC SG白河矢吹 太平洋C美野里C 植調埼玉 花屋敷GC <鳥取園試> 門司GC (7)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) ティクトラン乳 0.15mL<200-300mL>/m ²	実 ・ 継	[秋冬作:コウライシハ]一年生雑草 ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.2~0.3mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 [秋冬作:ノシハ]一年生雑草 ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1~0.3mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ノシハ	適用性 新規	SG白河矢吹 太平洋C美野里C 那須ナセー 植調埼玉 南長野GC 花屋敷GC 門司GC (7)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) ティクトラン乳 0.15mL<200-300mL>/m ²		[秋冬作:ケンタッキーブルーグラス]一年 生雑草 ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1-0.2mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 新規	帯広CC 泉バークタウGC クランティ那須GC 東日本G研 那須ナセー 埼玉スタジアム2002 新中国G研 (7)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.2mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) バイザール水和 0.1g<200-300mL>/m ²		継) ・ 0.1mL/m ² での効果、薬害の確認 (コウライシハ) ・ 年次変動の確認 (コウライシハ、ノシハ、ケンタッキーブルーグ ラス) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ケンタッキーブルーグ ラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ケンタッキーブルーグ ラス)
	コウライシ ハ	作用性 新規	浜松シーサイドGC 花屋敷GC (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3mL<200mL>/m ² , 0.6mL<400mL>/m ² , 1.2mL<800mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		・ 効果の確認された草種 スズメノカタビラ、オオムシクサ、タネツクサ ナ、オランダミナグサ、ウメグサ、ヒメオドリコソ ウ、ホトケノザ、ハコグサ
	ノシハ	作用性 新規	植調埼玉 門司GC (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3mL<200mL>/m ² , 0.6mL<400mL>/m ² , 1.2mL<800mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		
	ケンタッキー ブルーグ ラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2mL<200mL>/m ² , 0.4mL<400mL>/m ² , 0.8mL<800mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
8. DH-024顆粒水和 剤50% [日本曹達]	ハーマー グラス	適用性 新規	埼玉スツアム2002 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.15, 0.2, 0.3g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ウェイマープ フロアブル 0.6g<200-300mL>/m ²	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.15~0.3g<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 効果、薬害の確認 (ハーマーググラス) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーググ ラス) ・ 連用試験での確認 (ハーマーググラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーググ ラス)
9. GG-180粒 剤1%、DBN 0.5% [日本ケルシンアントカー デーン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボール粒15g/m ²	実・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前-初期 ・ 20-40g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ) ・ 連用試験での確認(コウライシハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ)
	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボール粒15g/m ²		
10. GG-181粒 剤1%、 DBN 0.5%、 N:P:K:Mg=11:8:7:3 [日本ケルシンアントカー デーン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) テマックス粒30g/m ²	実・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前-初期 ・ 20-40g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ) ・ 連用試験での確認(コウライシハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ)
	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
11. GG-182粒 シアナジン 1%、メコプロップ Pカリウム塩 1% [日本タリント・カー テン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボ-ル粒15g/m ²	実・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 30-40g/m ² ・ 土壌処理 [秋冬作; (コウライシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 20-40g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 発生前処理での効果の持続性につ いて年次変動の確認 (コウライシハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ) ・ 連用試験での確認(コウライシハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ)
	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボ-ル粒15g/m ²		
12. GG-191粒 トリアソフラム 0.1%、DBN 0.5% N:P:K:Mg=11:8:7:3 [日本タリント・カー テン]	コウライシ ハ	適用性 新規	太平洋C美野里C 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) テマックス粒30g/m ²	継	継) ・ 効果、薬害の確認(コウライシハ)
	コウライシ ハ	適用性 新規	太平洋C美野里C 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボ-ル粒15g/m ²		
13. GG-205 (旧HW-T62)水和 DCBN 50% [日本タリント・カー テン]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	[ベントグ-ラス、ケンタッキー-ル-グ-ラス] ・ 芝生育休止期 雑草生育期 ・ 1.0, 1.5, 2.0g <200mL>/m ² ・ 土壌処理 対) タフラー乳1.2mL<300mL>/m ²	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生雑 草] ・ 芝生育期、 雑草発生前～発生前(3葉期 まで) ・ 0.5～1.0g<150～200mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ ベントグ-ラスへの効果の確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認(ノシハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 高薬量(2.0g以上)薬害試験での 確認(コウライシハ、ノシハ)
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	[ベントグ-ラス、ケンタッキー-ル-グ-ラス] ・ 芝生育休止期 雑草生育期 ・ 1.0, 1.5, 2.0g <200mL>/m ² ・ 土壌処理 対) タフラー乳1.2mL<300mL>/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
14. HCW-003顆粒水和 イマゾスルフロン 35%、DBN 35% [日本グリーンアント・カ ーデン]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 佐野GC 関西G研 ＜鳥取園試＞ (4)	[一年生広葉(イノフグリ類含む)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g ・ <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 参) シハ ⁺ タイ40水和 0.1mL<200-300mL>/m ² 対) タ ⁺ フ ⁺ ルアツ ⁺ DG 0.03g<200-250mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺) 一年生 広葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前～初期 ・ 0.1～0.2g<200～300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 継) ・ 多年生広葉雑草に対する効果の 確認(コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺) ・ 実証試験での確認(コウライシハ ⁺ 、ノ シハ ⁺) ・ 倍量薬害試験での確認(コウライシ ハ ⁺ 、ノシハ ⁺)
	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 佐野GC 関西G研 (3)	[一年生広葉(イノフグリ類含む)、多 年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g ・ <200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 対) シハ ⁺ タイ40水和 0.1mL<200-300mL>/m ²		
	ノシハ ⁺	適用性 新規	東日本G研 佐野GC 南長野G研 新中国G研 (4)	[一年生広葉(イノフグリ類含む)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g ・ <200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 参) シハ ⁺ タイ40水和 0.1mL<200-300mL>/m ² 対) タ ⁺ フ ⁺ ルアツ ⁺ DG 0.03g<200-250mL>/m ²		
	ノシハ ⁺	適用性 継続	東日本G研 佐野GC 新中国G研 (3)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g ・ <200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 対) シハ ⁺ タイ40水和 0.1mL<200-300mL>/m ²		
15. HPW-1037ワアツ ⁺ ル オリザ ⁺ リン 15% [保土谷UPL]	コウライシ ハ	適用性 新規	泉 ⁺ ベ ⁺ クタンGC 東日本G研 佐野GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[ス ⁺ メノカタ ⁺ ラ、一年生広葉雑草(キ 科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.6, 0.8mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) サ ⁺ フ ⁺ ン80顆粒 0.1g<200-300mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺) 一年生 雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.6～0.8mL<200～300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 年次変動の確認 (コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ ⁺ 、ノシハ ⁺)
	ノシハ ⁺	適用性 新規	泉 ⁺ ベ ⁺ クタンGC 東日本G研 佐野GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[ス ⁺ メノカタ ⁺ ラ、一年生広葉雑草(キ 科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.6, 0.8mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) サ ⁺ フ ⁺ ン80顆粒 0.1g<200-300mL>/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
16. KUH-079顆粒水和 ピリミスチン 50% [クマイ化学工業、理研 グリーン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 宇都宮大学 関西G研 新中国G研 西日本G研 (5)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.02, 0.03, 0.04g <100-200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 対) プローブ スマッシュSC 0.03mL<150-200mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ) 一年生広葉雑 草、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.03~0.04g <水量100~200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 継) ・ 0.02g/m ² での効果の確認 (コウライシハ) ・ 倍量薬害での確認(コウライシハ) ・ 連用試験での確認(コウライシハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ)
17. MBH-084水和 既知化合物 75% [丸和バ イケミカル]	ヘントク ラス	適用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[藻類] ・ 芝生育期 藻類生育期 ・ 1.5g→1.5g<200-300mL>/m ² 2.0g→2.0g<200-300mL>/m ² 3.0g<200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 対) コーレット水和 2.0g→2.0g<1000mL>/m ²	継	継) ・ 効果・薬害の確認(ヘントク拉斯)
18. NC-625顆粒水和 ピラジスルフロニエチル 70% [日産化学工業]	コウライシ ハ	適用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02g<150, 300mL>/m ² 0.03g<150mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) アクリン水和 0.3g<150mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ、ヘントク ラス) 一年生広葉雑草および多年生 広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02-0.03g<150-300mL>/m ² ・ 茎葉処理
	ノシハ	適用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02g<150, 300mL>/m ² 0.03g<150mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) アクリン水和 0.3g<150mL>/m ²		継) ・ 薬害の発生要因について (ヘントク拉斯) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ヘントク拉斯) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ヘントク拉斯)
	ヘントク ラス	適用性 継続	帯広CC 東日本G研 新中国G研 (3)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02g<150, 300mL>/m ² 0.025g<150mL>/m ² 0.03g<150mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) アクリン水和 0.3g<150mL>/m ²		
19. NHK-072水和 クロピリダ 50% [日本農業]	ヘントク ラス	適用性 継続	太平洋C美野里C 関西G研 新中国G研 (3)	[コキ類] ・ 芝生育期 コキ類生育期 ・ 0.2, 0.4, 0.6g <200-300mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) キタニ水和 2g<200-300mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (ヘントク拉斯) コキ類] ・ 芝生育期、コキ類生育期 ・ 0.2~0.6g<200~300mL>/m ² ・ 茎葉処理 継) ・ 高用量での薬害の確認 (ヘントク拉斯)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
20. NP-647プロアル ベントキサゾン 20% [日本曹達]	ベントク ラス	適用性 継続	東日本G研 植調埼玉 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 (5)	[キンコク] ・ 芝生育期 キンコク生育期 2-3月に1回処理 ・ 0.5, 0.75, 1mL <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) タク水和 0.045g<100-200>/m ²	実 ・ 継	[実] [秋冬作; (ベントグラス) 功類] ・ 芝生育期、功類生育期 ・ 0.5~1mL<100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 [継] ・ 0.5mL/m ² 処理での効果について 年次変動の確認 (ベントグラス)
	ベントク ラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 コク生育期 ・ 1mL<200mL>/m ² , 2mL<400mL>/m ² , 4mL<800mL>/m ² ・ 茎葉処理		
21. RGH-0601粒 ベントイメタリン 0.86%、 N:P:K=24:4.5:8 [理研カリン]	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 継続	帯広CC 泉パークタウンGC 東日本G研 宇都宮大学 (4)	[一年生雑草(キ科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 15, 20, 25g/m ² ・ 土壌処理 ・ 対) テマックス粒剤 15g/m ²	実 ・ 継	[実] [秋冬作; (コウライシバ、ノシバ) 一年生 雑草(キ科除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 20-25g/m ² ・ 土壌処理 [秋冬作; (ケンタッキーブルーグラス) 一 年生雑草(キ科除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 20g/m ² ・ 土壌処理 [継] ・ 25g/m ² での効果の確認 (ケンタッキーブルーグラス) ・ 連用薬害試験での確認(コウライ シバ、ノシバ、ケンタッキーブルーグラス) ・ 実証試験での確認(コウライシバ、ノ シバ、ケンタッキーブルーグラス)
	ベントク ラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[スズメノカタビラ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.2, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) エイケン水和 1g<200mL>/m ²		
22. SB-201乳 新規化合物 25% [エス・ディー・エス・ハートテック] [エス・ディー・エス・ハートテック]	ベントク ラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[スズメノカタビラ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.2, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) エイケン水和 1g<200mL>/m ²	継	[継] ・ 効果・薬害の確認(ベントグラス)
	ベントク ラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[スズメノカタビラ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.2, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理		
	ベントク ラス	適用性 新規	泉パークタウンGC 関西G研 新中国G研 (3)	[スズメノカタビラ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) エイケン水和 1g<200mL>/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
23. SB-202707 ^ア ル 既知化合物 54% [エス・ティ・イー・エス ハ イ オ テ ッ ク]	ヘントク ^ア ラス	作用性 新規	東日本G研 関西G研 (2)	[スス ^ア ノカビ ^ア ラ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 1, 2, 3mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) マックリン 1mL<200mL>/m ²	—	(作用性)
24. SL-160顆粒水和 フラサ ^ス ス ^ル フロン 25% [石原産業]	ノシハ ^ア	適用性 継続	東日本G研 関西G研 (2)	[一年生広葉、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 一年生雑草発生前 ・ 0. 01, 0. 02, 0. 03g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤加用 対) 一任	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ ^ア) 一年生雑草お よび多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 0. 01-0. 03g<200-300mL>/m ² 雑草発生前初期 0. 01-0. 03g<100-200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 [秋冬作; (ノシハ ^ア) 一年生雑草お よび多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 0. 01-0. 03g<200-300mL>/m ² 雑草発生前初期 0. 01-0. 03g<100-200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 [秋冬作; (ハ ^ア ・ミュータ ^ア グ ^ア ラス) 一年生 雑草および多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 0. 01-0. 03g<200-300mL>/m ² 雑草発生前初期 0. 01-0. 03g<100-200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 継) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ ^ア 、ノシ ハ ^ア 、ハ ^ア ・ミュータ ^ア グ ^ア ラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ ^ア 、ノシ ハ ^ア 、ハ ^ア ・ミュータ ^ア グ ^ア ラス)
	ノシハ ^ア	適用性 継続	東日本G研 関西G研 (2)	[多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前初期 ・ 0. 01, 0. 02, 0. 03g <200-300mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤加用 対) 一任		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
25. SYJ-111乳 S-メトクロール 83.7% [シンジエンタ ジャパン]	コウライシ ハ*	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.25, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ティエール乳 0.7mL<200-300mL>/m ²	継 継)	・ 効果、薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ)
	ノシハ*	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.25, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ティエール乳 0.7mL<200-300mL>/m ²		
	コウライシ ハ*	適用性 新規	泉ハークワンGC 東日本G研 浜松シサイト GC 関西G研 新中国G研 門司GC (6)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.25, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ティエール乳 0.7mL<200-300mL>/m ²		
	ノシハ*	適用性 新規	SG白河矢吹 東日本G研 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 門司GC (6)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.25, 0.3, 0.4mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ティエール乳 0.7mL<200-300mL>/m ²		
26. SYJ-1947ロブアール プロシアン 40% [シンジエンタ ジャパン]	コウライシ ハ*	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生雑草(雑科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.14, 0.18, 0.26mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) クラフロック水和 0.1g<200-300mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 雑草(雑科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.14-0.26mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 [秋冬作; (ハーマーググラス) 一年生 雑草(雑科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.18-0.26mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 低薬量(0.14mL/m ²)での効果の 確認(ハーマーググラス) ・ 年次変動の確認 (ハーマーググラス) ・ 倍量薬害試験での確認(コウライ シハ、ノシハ、ハーマーググラス) ・ 連用試験での確認(コウライシハ、ノ シハ、ハーマーググラス) ・ 実証試験での確認(コウライシハ、ノ シハ、ハーマーググラス)
	ノシハ*	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生雑草(雑科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.14, 0.18, 0.26mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) クラフロック水和 0.1g<200-300mL>/m ²		
	ハーマー ググラス	適用性 新規	東日本G研 埼玉サシアA2002 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草(雑科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.14, 0.18, 0.26mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) クラフロック水和 0.12g<200-300mL>/m ²		
	コウライシ ハ*	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.26mL<200-300>/m ² ・ 土壌処理		
	ハーマー ググラス	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.26mL<200-300>/m ² ・ 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
27. MAH-0802707アル 既知化合物 35% [マクシム・アガ・ン・ジ・ヤハ ン]	コウライシ バ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.35, 0.5, 0.65, 0.8mL <200mL>/m ² ・ 土壌処理 対) 一任	継	継) ・ 効果、薬害の確認(コウライシバ)
	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.5, 0.65, 0.8mL<200mL>/m ² ・ 土壌処理 対) 一任		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. BES-004液 エチホン 21% [ハ・イレ クロップ サイン ス]	ベントグ ラス	作用性 新規 (H19)	関西G研 (1)	[ス・メカビ・ラ出穂抑制] ・ 芝生育期 ス・メカビ・ラ出穂前 ・ 0.5, 1, 1.5mL/m ² (1回処理) 0.5mL→0.5mL/m ² (2回処理) 1mL→1mL/m ² (2回処理) 1.5mL→1.5mL/m ² (2回処理) ・ 散布水量 100-200mL/m ² ・ 2回目処理は1回目の1か月後 ・ 茎葉処理	継	継) ・ 処理方法の検討(ベントグラス) ・ 効果、薬害の確認(ベントグラス)
	ベントグ ラス	適用性 継続	泉バークラウGC グランドイ那須GC 東日本G研 浜松シサイト GC 関西G研 新中国G研 (6)	[ス・メカビ・ラ出穂抑制] ・ 芝生育期 ス・メカビ・ラ出穂前 ・ 0.5mL→0.5mL→0.5mL/m ² (3回処理) 1mL→1mL→1mL/m ² (3回処理) 1.5mL→1.5mL→1.5mL/m ² (3回処理) ・ 散布水量 100-200mL/m ² ・ 1ヶ月間隔で処理を行う ・ 茎葉処理		
2. SYI-201707アル バクロトリアール 21.5% [シンジエンタジャハン]	ベントグ ラス	適用性 継続	太平洋C美野里C 新中国G研 (2)	[ス・メカビ・ラ生育抑制] ・ 芝生育期 ス・メカビ・ラ1-5葉期 ・ 0.04, 0.06, 0.08mL<100-200> ・ 茎葉兼土壌処理	実 ・ 継	実) [(ベントグラス)ス・メカビ・ラ生育抑制 による発生密度の低減] ・ 芝生育期、 ス・メカビ・ラ発生前～初期 ・ 0.04～0.08mL<100～200mL> /m ² ・ 茎葉兼土壌処理
	ベントグ ラス	作用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ H19春→H19秋→H20春→H20秋 ・ 芝生育期 ス・メカビ・ラ出穂前 ・ 0.08mL<100-200> ・ 茎葉兼土壌処理		注) ・ 処理後一時的に芝が濃緑化する 場合がある 継) ・ 反復処理での効果、薬害につい て(ベントグラス) ・ 同一圃場、連年施用時の効果、 薬害について(実証試験) (ベントグラス)